

授業科目(ナンバリング)	福祉の哲学・倫理 (DA313)			担当教員	野田 健		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	3年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>社会福祉及び関連する分野で活動していく際、専門的な知識や技術の修得は不可欠であるが、同時に人間や社会についての理解を深め、自他の尊厳を見出し、守っていこうとする意志や態度が求められる。そこで本授業では、人間とは何か、社会とは何か、そして福祉とは何かという問いに、幸福・人権・自己決定・共生・愛・自由をキーワードにして向き合っていくことを通じ、個々人の人間尊重、ホスピタリティ、については、福祉的思想を醸成していくことを授業のねらいとする。</p> <p>なお、このねらいを達成するため、この授業はアクティブ・ラーニング類型①②⑤に沿い、ポートフォリオを活用しながら、ディスカッション等を行っていく。</p>							①②⑤
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	福祉思想や福祉活動について説明することができる。 社会問題に対し、福祉の倫理や哲学的観点から解決策を提案できる。				定期試験 予・復習提出課題	40% 20%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	人間と社会における倫理に基づき、積極的に自分の意見を表明するとともに、他者の意見を傾聴し、問題解決に取り組むことができる。				課題の達成度 ディスカッション等への参加姿勢	20% 20%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験 (40%)：論述試験の形式にて行い、持ち込みは不可とする。出題内容は、福祉の哲学・倫理の視点から現代社会における諸問題をどのように理解し、解決を図らなくてはならないかを論述するものとする。</p> <p>予・復習提出課題 (20%)：毎コマ後、ポートフォリオ等にて出題する課題の達成度を見て評価する。</p> <p>課題の達成度 (20%)：講義時に提示する課題の達成度を見て評価する。</p> <p>ディスカッション等への参加姿勢 (20%)：授業中のディスカッションやディベートへの参加の姿勢を見て評価する。</p> <p>フィードバック：課題の達成度は、授業中に評価・解説する方法を用いてフィードバックしていく。</p>							
授業の概要							
<p>年齢、性別、人種、価値観、能力等、様々な点で異なる人々によって社会は形成され、その中でそれぞれが幸せを求め生活を営んでいる。しかし一方で、貧困や疾病、差別等の個々人ではどうすることもできない諸問題が生じ、人々の日々を脅かしている。だからこそ今、そうした事実に向けていきながら、一人ひとりがかけがえのない存在として尊重し合い、偏見や差別のない共生社会を創りあげていく思想を追求していくことが、個々人に委ねられている。そこで、この授業では、私たち自身が福祉的な思想と活動を広げる一助となれるよう、実践事例を踏まえつつ、ディスカッションやディベートを交えながら人間や社会についての理解を深め、福祉の哲学・倫理について考察していく。</p> <p>なお、この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：教科書は使用しない（授業中に資料を配布する）</p> <p>参考書：富増章成（2008）『図解 名言で学ぶ！哲学入門』洋泉社（哲学的視点の習得のために活用）</p> <p>指定図書：関家新助（2011）『社会福祉の哲学』中央法規</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
日頃から、新聞や雑誌、ウェブ情報から福祉に関連する記事や情報をリサーチし、人権や幸福、愛、自由といった哲学・倫理的視点から考察する習慣を身につけてほしい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	講義計画の概要、学習方法についての説明を行う。また、自分自身の価値観について考察する。	予習：「自己」を調べる。 復習：「自己」に関する課題を行う。
2	哲学と倫理	哲学と倫理という言葉について理解を深めるとともに、その重要性を学ぶ。	予習：「倫理」を調べる。 復習：「倫理」に関する課題を行う。
3	人間と社会	人間と社会について理解を深め、そこに哲学と倫理がどのように介在するかを学ぶ。	予習：「社会」を調べる。 復習：「社会」に関する課題を行う。
4	幸福の考察	幸福の意味について、哲学・思想家の言葉を参照しながら考察する。	予習：「幸福」を調べる。 復習：「幸福」に関する事例検討を行う。
5	幸福に関する事例検討	幸福に関する事例についてディスカッションを行、その理解を深める。	予習：配布資料を読む。 復習：「幸福」について再考する。
6	人権の考察	人権の意味について、哲学・思想家の言葉を参照しながら考察する。	予習：「人権」を調べる。 復習：「人権」に関する事例検討を行う。
7	人権に関する事例検討	人権に関する事例についてディスカッションを行い、その理解を深める。	予習：配布資料を読む。 復習：「人権」について再考する。
8	自己決定の考察	自己決定について、哲学・思想家の言葉を参照しながら考察する。	予習：「自己決定」を調べる。 復習：「自己決定」に関する事例検討を行う。
9	自己決定に関する事例検討	自己決定に関する事例についてディスカッション等を行い、その理解を深める。	予習：配布資料を読む。 復習：「自己決定」について再考する。
10	共生の考察	共生の意味について、哲学・思想家の言葉を参照しながら考察する。	予習：「共生」を考察する。 復習：「共生」に関する事例検討を行う。
11	共生に関する事例検討	共生に関する事例についてディスカッション等を行い、その理解を深める。	予習：配布資料を読む。 復習：「共生」について再考する。
12	愛の考察	愛の意味について、哲学・思想家の言葉を参照しながら考察する。	予習：「愛」を考察する。 復習：「愛」に関する事例検討を行う。
13	愛に関する事例検討	愛に関する事例についてディスカッション等を行い、その理解を深める。	予習：配布資料を読む。 復習：「愛」について再考する。
14	自由の考察	自由の意味について、哲学・思想家の言葉を参照しながら考察する。	予習：「自由」を考察する。 復習：「自由」に関する事例検討を行う。
15	自由に関する事例検討	自由に関する事例についてディスカッションを行い、その理解を深める。	予習：配布資料を読む。 復習：「自由」について再考する。
16	定期試験		